

函館山の麓、西部地区からまちづくりと一緒に!

はこまち通信 クーポラ

2023.7

vol. 65



まちづくりセンターの建物が
2023年に100周年を迎えました!



まちづくりセンター公式
YouTube チャンネル



第一回港まつり 末広町丸井呉服店前にて(函館市中央図書館所蔵)

Contents

Cupola Vol.65

■ 特集 函館市地域交流まちづくりセンター 建物100年物語 P2
■ 「第19回 NPOまつり」開催します!! P4
■ 市民活動団体のご紹介 NPO法人 NPOサポートはこだて P5
■ クーポラ便り／配布先・問い合わせ先 P6
■ INFO&TOPICS P7
■ センター長 丸藤の『いま 伝えたいこと』 P8



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

まちづくり、市民活動、各種助成金、移住・定住に関する問い合わせなど、お気軽にご相談ください。

●まちづくりセンターで行われている講座案内や市民活動団体などの詳細は、ブログやホームページをご覧ください。

発行／函館市地域交流まちづくりセンター

<https://hakomachi.com>





函館市地域交流まちづくりセンター建物

～100年物語～

函館市地域交流まちづくりセンターの建物は、1923(大正12)年に丸井今井呉服店函館支店として建てられ、2023(令和5)年に100年を迎えます。

1969(昭和44)年の百貨店移転にともない函館市分庁舎として使用が開始され、2002(平成14)年まで続きました。

その後、大規模改修を経て、2007(平成19)年に「函館市地域交流まちづくりセンター」としてオープンし現在に至ります。

100年にわたって十字街の中心としてまちの賑わいを支えてきたこの建物の歴史を振り返っていきましょう。



1923 ▶ 1933

丸井今井呉服店函館支店の誕生

函館市地域交流まちづくりセンターの建物は1923(大正12)年に丸井今井呉服店函館支店として建てられました。函館は三方を海に囲まれ、かつ強風の日が多いことが災いして大火が多かったため、耐震・耐火性に優れた鉄筋コンクリート構造により、当初は3階建で建設されました。

1930(昭和5)年には営業面積を拡大する必要から既存部分に4階を増築、さらに隣接して5階が増築されました。



1931(昭和6)年当時の丸井今井呉服店

(函館市中央図書館所蔵)

1934 ▶ 1969

函館大火から本町へ移転するまで

1934(昭和9)年3月、函館大火により建物は類焼します。これを受けて、各階の床を補強するために柱と柱を対角線に結ぶ交差梁の追加などの改修が施され、同年11月に早くも営業再開を果たします。

1969(昭和44)年、丸井今井百貨店函館支店が本町へ移転するまで、当時の十字街の中心地として栄えました。



函館大火直後の丸井今井呉服店周辺

(函館市中央図書館所蔵)

1934
(昭和9)



1923
(大正12)



Hakodate Community Design Center vol.65 2023年7月

1970 ▶ 2007

分庁舎時代から大規模改修へ

1970(昭和45)年からは、当時の水道局・交通局が入居する函館市分庁舎としての使用を開始します。

1989(平成元)年には、その特徴的な外観から函館市都市景観条例に基づく「景観形成指定建築物等」に指定されました。

しかし、建物の老朽化による安全性の問題から2002(平成14)年、水道局等は移転し建物は一時閉鎖。2005(平成17)年から2007(平成19)年にかけて「外観の保全」と「安全性の確保」の両立を図るために改修を行いました。

外観の意匠は、創建時の3階建に忠実に復元することを基本とし、東北以北最古のエレベーターを保存するため、塔屋部分を5階建のまま残しています。



函館市末広町分庁舎当時の外観

2007(平成19)年4月1日、市民交流やNPOなど市民活動の支援、観光案内をはじめ地域情報の発信を通じ、地域のコミュニケーションやまちづくり活動を推進するための拠点施設として「函館市地域交流まちづくりセンター」がオープンしました。函館市内や道南地域の市民活動団体の活動スペースとしてだけでなく、全国各地から研修旅行や視察の受入れを行うなど幅広くご利用いただいているます。

また、毎回ご好評をいただいている「水曜マルシェ」や「NPOまつり」、市民と移住者が交流する「まちセン茶論(サロン)」の開催等、豊かな市民社会の実現に寄与することを目的に、今後も市民交流の場として親しまれる施設づくりを目指してまいります。



函館市地域交流まちづくりセンター外観



年に一度の
大イベント

「第19回 NPOまつり」開催します!!

道南にあるNPO団体や市民活動団体が参加し、まちづくりセンター全体がおまつり会場になるNPOまつり。この数年は、新型コロナウイルスの影響で開催を中止したり、オンラインでの開催を行うなど直接お会いできない期間が続きました。しかし、今年は4年ぶりにまちづくりセンターに集まつて開催することが決定しました!

当日は、以下のラインナップを予定しています。

- ◆市民活動紹介ブース
- ◆ライブステージ
- ◆市民活動パネル展

など、楽しいイベントが盛りだくさんです!

詳細については、
まちセンホームページ等で
随時お伝えしますので
お楽しみに!

皆さまのご来場を心より
お待ち申し上げます。



第15回（2019年）の様子▲

第19回NPOまつり
2023
8/20(日)
10:00~14:00

祝 まちセンの建物は今年100周年を迎えました。
さあ全員揃ってレトロでモダンな
まちセンへ行こう!!

第19回
NPOまつり

とき ところ

2023年8月20日日 10:00 ~14:00

函館市地域交流まちづくりセンター（函館市末広町4-19）

入場無料

市民活動紹介ブース
団体に関する商品の販売や活動体験を通じて楽しくコミュニケーション!

ライブステージ
市民活動団体による本格的な「生ライブ」うたって踊ってみんなで一緒に盛り上がろう!

市民活動パネル展
市民活動団体の活動が一目でわかるパネル展！地域でどのような活動が行われているかご覧ください。

※イベント内容は変更となる場合ございます。

道南のNPO団体、市民活動団体がまちづくりセンターに集まる「NPOまつり」。団体同士の交流はもちろん、市民と団体が関わる新しい仲間を見つける場でもあります。

NPOまつりの詳細はHPをご確認ください。

主催 第19回 NPOまつり実行委員会 ☎0138-22-9700

函館市地域交流まちづくりセンター
〒040-0004　北海道函館市末広町4-19
TEL:0138-22-9700

地図

会場 ➤ 函館市地域交流まちづくりセンター <函館市末広町4-19>

各種お問い合わせ 第19回NPOまつり実行委員会（まちづくりセンター内） ☎0138-22-9700



Hakodate Community Design Center vol.65 2023年7月

一緒に応援しませんか？

市民活動団体のご紹介

会員募集中！
一緒に活動してみたい方は
お気軽に各団体に
お問い合わせください。

活動 団体

～まちセンの運営をしています！～ NPO法人 NPOサポートはこだて

2006年にNPO法人を設立。現在、道南における中心的中間支援組織として活動しています。函館市地域交流まちづくりセンターがオープンした2007年4月1日より現在も、指定管理者として施設運営・NPO等市民活動支援・移住者支援・市や観光情報などを発信する活動の他、シニックバイウェイ函館・大沼・噴火湾ルートの活動に参加したり、北の国災害サポートチーム幹事団体等を行ってきました。また、町会活性化支援、地域の関係機関との連携による防災ネットワークづくりや啓蒙活動、SDGsの普及啓発も行っています。



毎年行っている十字街商盛会との花植え

活動にあたっては、人口推移等各種データを分析することで課題を探り、町会活動や防災活動に今後必要とされること等を踏まえた提言やアドバイスを心掛けています。

市内外で活動している団体や個人とのネットワークも多く、道南の活動情報の受信・発信の拠点、市民活動等の各種相談対応もしています。まちづくり等に関しての研修も積極的に行ってていますので、ぜひご参加ください。

●NPO法人NPOサポートはこだて 理事長／山内 一男 設立／2006年 会員数／14名

入団条件／特になし 年会費／3,000円

<http://www.npo-hakodate.net/> kisoomarufuji@gmail.com (事務局長 丸藤)

団体設立のきっかけや
活動内容などの詳細はまちセンHPで

<https://hakomachi.com>



市民活動団体のみなさまへ

市民活動団体のみなさんに役立つ情報をお知らせしてまいります

3階印刷室をご利用ください

■印刷機使用料金 (※用紙代別)

- ①製版代／1枚 100円
- ②印刷枚数／10枚まで 10円
(以後10枚ごとに10円加算となります)

※①製版代+②印刷枚数の代金が必要です。
印刷用紙と小銭のご用意をお願いします。

■コピー料金

- ①白黒／A4・B4・A3 1枚 10円
- ②カラー／A4・B4 1枚 50円
- ③カラー／A3 1枚 100円



横断幕・ポスター・プリント承ります

■横断幕 (610mm×1.5m)

1枚 2,400円～

■ポスターA2版 (420mm×594mm)

1枚 1,200円～

※横断幕は文字原稿を、

ポスター等はPDFデータ形式にてお持ちください。

※お引渡しまで5日程度の日数をいただいております。

※詳しくはお問合せください。



登録者500人ありがとう！

まちづくりセンター内にある「移住サポートセンター」では、情報発信ツールとして、2021年1月よりインスタグラムを始めました！

インスタグラムでは“はこだて暮らし”をテーマに、函館での生活を楽しむヒントや季節の移り変わりなどを発信中。具体的には、函館山の麓西部地区の情報を中心とする「函館の飾らない日常風景」を更新しています。函館への移住を検討中の方はもちろん、すでに函館に移り住んだ方も、そして函館在住の方も、お気軽にフォローしてください。

移住サポートセンターが配信しているメールマガジンとあわせてご覧いただくと“はこだて暮らし”をよりイメージできると思います。メールマガで伝えきれない視覚的情報を発信しています。



みなさまのおかげで、登録者500人を超えるました!!
函館の今を伝えていきますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

はこだて暮らし／函館市地域交流まちづくりセンター
@hakodatekurashi



フォロー
お願いします！

Instagram

はこだて暮らし
@hakodatekurashi

hakodatekurashi

304 投稿535 フォロワー0 フォローチャンネル

はこだて暮らし @ 移住 / 函館市地域交流まちづくりセンター

函館の飾らない日常風景。メールマガでも情報発信中！
オンライン移住相談も行っています。



配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポラ』2023年7月 vol.65

- 発行／函館市地域交流まちづくりセンター
- 住所／〒040-0053 北海道函館市末広町4-19
- TEL／0138-22-9700
- FAX／0138-22-9800
- 開館／9:00～21:00
- 休館日／12月31日～1月3日

<https://hakomachi.com>



このほか器材点検のため月1回程度、臨時休館する場合があります。
詳しくはセンター内やWebでお知らせしています。



建物裏手に駐車場あり。
2時間まで無料。

指定管理者／
NPOサポートはこだてグループ
(2007年4月～)

●主な配布先（敬称略）

- ◇函館市役所1F
- ◇亀田支所
- ◇湯川支所
- ◇銭亀沢支所
- ◇戸井支所
- ◇恵山支所
- ◇椴法華支所
- ◇南茅部支所
- ◇函館市中央図書館
- ◇渡島総合振興局
- ◇亀田交流プラザ
- ◇函館市企業局
アクロス十字街
- ◇総合保健センター
- ◇函館市民会館
- ◇函館アリーナ
- ◇函館市公民館
- ◇函館市女性センター
- ◇函館市青年センター
- ◇函館コミュニティプラザ
Gスクエア
- ◇函館市青少年研修
センターふるる函館
- ◇中島れんばい
ふれあいセンター
- ◇函館市総合福祉
センターあいよる21
- ◇函館市勤労者
総合福祉センター
サン・リフレ函館
- ◇どさんこ交流テラス
(東京 有楽町)

『はこまち通信クーポラ』に関するご意見、ご感想をお寄せください。HPにメールフォームがございます。



次号は9月末発行予定です（年4回）



Hakodate Community Design Center vol.65 2023年7月

※毎週水曜開催

「水曜マルシェ」が戻ってきました!

毎週水曜日にまちづくりセンター1階で開催していた「水曜マルシェ」を約3年ぶりに再開いたしました!コロナ禍前と比べて店舗数を減らしての開催ですが、少しずつ以前の賑わいが戻ってきています。お野菜・アクセサリー・布小物など、バラエティに富んだラインナップになっておりますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください!



▲お話しながら直接購入することができます!

※毎月1回開催

今年度最初の「まちセン茶論」を開催しました!

函館市への移住相談窓口「移住サポートセンター」主催の『まちセン茶論』を5月9日に開催しました。

今年度初めてとなる今回は7名の方が参加してください、自己紹介を交えながら函館での生活をざっくばらんにお話したり、移住を検討されている方のお悩みと一緒に考えるなど中身の濃い時間となりました。

毎月1回開催していますので、ぜひお気軽にご参加ください!



▲“はこだて暮らし”をテーマに話が盛り上がりいました!

2023年5月20日(土)

2019年秋以来3年ぶりの「バル街」は大盛況!

函館西部地区バル街が3年ぶりに開催され、当日は多くの人が賑わいました。

33回目となる今回は57店舗が参加し、それぞれ趣向を凝らしたお酒やピンチョスを楽しむことができました。

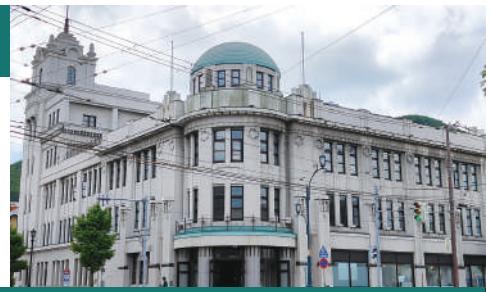
まちづくりセンター内には事務局「バル街」が設置されたほか、4つの飲食店が出店し、多くのお客様が訪れました。



▲大泉潤市長がバル街の開会宣言を行いました!

「はこまち通信クーポラ」のクーポラとは?

教会などの屋根上部に取り付けられた半球型の構造物を指します。1923(大正12)年に建てられた旧丸井今井呉服店函館支店をリノベーションし2007年にオープンした地域交流まちづくりセンター。その外観を印象づける『クーポラ』を、広報誌名でも使用しています。





センター長 丸藤の「いま 伝えたいこと」

この100年、次への100年。

函館市地域交流まちづくりセンターとして多くの方にご利用いただいているこの建物ですが、今年、築100年を迎えます。

大正10年4月4日東川町から出火し2,041戸を全焼した大火は、当時の丸井今井も襲いました。翌大正11年から着工された新築工事の末、大正12(1923)年に完成。新しい百貨店として披露されたのが、現在のまちづくりセンターの原型となった建物です。

建築学的な詳細やエピソードの紹介は他の機会に譲りますが、この100年、建物は様々な歴史を見つめてきました。昭和9年の大火や翌年から始まった港まつり。太平洋戦争や労働者のデモ、バブルもほんの一瞬だったかもしれませんのが通り過ぎています。百貨店だった時代、市役所の分庁舎だった時代、そして今。

この100年、数えきれないくらい多くの方が、様々な思いを持ちながら扉を開けてきたのだと思うと、感慨深いものがあります。

全国にたくさんの市民活動を支援する施設が建てられていますが、これだけの歴史があり人々の記憶とともに歩んできた建物の中で活動できるところはあまりありません。とても恵まれていると感じます。何より、子どもの頃に感じていたデパートに入る時のワクワク感のDNAが今も残り、それぞれの活動やまちのワクワク感につながっていることが嬉しくてまりません。

まちづくりセンターとなった今も、映画やドラマ、CMなどの撮影に使われ、多くの観光客が写真を撮り、シンボルともなっている東北以北最古の手動式エレベーターには多くの方に乗っていただいています。

私が築200年の姿をこの目で見ることは不可能ですが、丸井今井百貨店がワクワク感を残してくれたように、次の100年に向け私たちが何を残していくかを考えながら、皆さんと一緒に必要なことをひとつひとつ積み重ねていきたいと思います。

引き続きよろしくお願いいたします。

1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間／10:00～15:00
- 定休日／土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。
函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、
布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。



【オススメ】土偶クッキー 800円
(2枚×6袋入 税込)

北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録で
ますます人気が高まっています。

1F 喫茶コーナー Cafe DripDrop

- 営業時間／10:00～17:00 (変更の場合あり)
- 定休日／水曜日・施設休館日
- 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか?
- 営業時間など最新情報は
お店のSNSをご覧ください▶



【オススメ】ランチプレート 800円(税込)

トーストに七飯・ななエッグのゆで玉子、ウィンナー、
季節の野菜サラダ、スープのセットです。
食後のお飲みもの付き。

